

知っ得情報

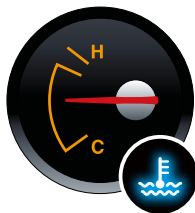
みなさん、こんにちは! 今回は車の寿命を気付かないうちに縮めてしまう行為の話です。

意外と知らない!

・エンジンをかけてすぐに発進する!

クルマのエンジンをかけてすぐにスタートしたい所ですが、いきなり走りだすのは車を傷める原因です。

これは寝起きでウォーミングアップもせずに激しい運動をするようなもの…。人間の場合作すと心臓への負担はもちろん関節や筋肉も傷めてしまうかもしれませんよね。クルマの場合は、エンジンやミッションのオイルが全体にまわっていなかったり、グリスの動きが渋かったりなど、やはりエンジンをかけてすぐ発進することはクルマに負担がかかります。1分程度エンジンをかけたままにしオイルがまわるのを待ちましょう。とは言え急いでお出かけになりたい方は低回転での運転に心がけ、必要以上にアクセルを踏み込まず水温計が通常の位置で安定(ランプが消灯)するまでゆっくり走りましょう。



・車に乗らない日が多い!

クルマには様々な電装部品が搭載されており、コンピューターやカーナビなどは記憶装置や時計装置を維持するために使用してない状態でも少しずつ電気を消費している。そのためバッテリーの自然放電が進み最終的にはバッテリー上がりとなってしまいます。

走る時間がなくても、1ヶ月に1度はエンジンをかける。そして乗らなかった期間分を充電するためにも20km程度走ってみることがおすすめです。

いかがでしたでしょうか!以上のことをふまえて素敵なカーライフをお楽しみください。

